

基本情報

指標番号

2193

名称

血液培養2セット実施率（厚労省）

分母

血液培養オーダー日数

分子

血液培養オーダーが1日に2件以上ある日数

指標群

感染症系

意義

血液培養は1セットのみの場合の偽陽性による過剰治療を防ぐため、2セット以上行うことが推奨されている

年度

2022,2023,2024

必要データセット

EFファイル、外来EFファイル

指標の定義算出方法

分母の定義

1. 解析期間に下記の検査を実施した症例を対象とする

診療行為コード	名称	2022	2023	2024
160058610	細菌培養同定検査（血液）	△	○	△

2. 入院、外来EFファイルで上記の血液培養オーダーが、1患者1日毎に実施された日数を集計し、分母とする。

同一日に複数人に実施している場合は、その人数の合計を、日数で計上する。

3. 2022年4月から2024年9月データでは特定機能病院を除く

分子の定義

1. 血液培養の実施回数が1日2回以上の日数を合計する。実施回数は1患者1日で合計する。つまり、同一日に2セット以上採取している患者の合計数を日数で計上する分母のうち、EFファイルに当該期間中に以下のいずれかに該当する患者を抽出する。実施回数は、行為明細番号(EF7) = '000' 以外のレコード(Fファイル相当)から集計し、以下のいずれかの場合を分子とする。

A：行為回数(EF-21)×使用量(EF-12)を1日当たりで合計したものが2以上(ただし、使用量(EF-12)が「0」の場合は使用量(EF-12)を「1」として計算)の場合

B：出来高実績点数(EF-16)の1日当たり合計が2回分以上の場合

その他

薬剤一覧の出力

いいえ

リスク調整因子の条件

指標の算出方法

分子÷分母

指標の単位

パーセント

結果提示時の並び順

降順

測定上の限界・解釈上の注意

1. 厚労省の示す2023年度データによる計測定義では、2023年度データを利用することになっているが、QIPでの計測では、例えば2023年4月1日退院の症例について、2022年度のEFファイルなど、他年度のEFファイルデータも用いる。
2. 入院および外来を合計して算出する。このため、同日に外来で1回、入院で1回として実施データの有る症例は、分母として1、分子としても1として算出する。

参考資料

参考値

参考資料